



印西市立西の原中学校

# 学校だより

発行 令和7年12月2日 No. 8

〒270-1334

印西市西の原一丁目3番地

TEL 0476-45-0160

FAX 0476-45-0161

特別支援相談窓口・コーディネーター

(教頭・谷・関口)

セクハラ相談窓口

(仲子・鈴木美・糸川・森元・教頭)

## 【学校教育目標】

自ら考え、心豊かにたくましく生きる若者の育成  
～常識と良識をもった生徒～

## 感じ方が違うかもしれない

印西市立西の原中学校

校長 臼井 昌章

いよいよ師走に入りました。2025年ももう4週間あまりで終わろうとしています。後期の始まった10月から11月にかけては、さまざまな行事が目白押しでした。特別支援学級のイオン販売会、银杏祭とハートフルコンサート、そして印旛地区音楽発表会、3年生は保育実習を経験し、進路決定に向けて三者面談を実施しました。2年生は職場体験学習を行い、働くとはどういうことか、身をもって学びました。1年生は生徒会本部役員選挙を経験し、中学生としてたくましくなってきました。また、11月26日には全ての学年で校内授業研修会を行いました。1つひとつの行事を経るごとに、生徒のみなさんはそれぞれの学年にふさわしい成長を見せています。

さて、12月4日から人権週間が始まります。この機会に、少しずつ大人になってきたみなさんに、次のことを考えてほしいと思います。「自分がされて嫌なことは、他の人にしないようにしよう」とはよく言いますね。多分ほとんどのみなさんが、この言葉を聞いてきただろうと思います。とても大切なことですし、ぜひこれからも守ってほしいと思います。

ただ、みなさんにはもう一つ考えてほしいことがあるのです。それは「自分にとっては平気なことでも、他の人にとってはそうではないかもしれない」ということです。

例えば、私はコーヒーが好きです。香り高くおいしいし、気分転換の一杯に最適だと感じています。しかし、カフェインが入っていて睡眠を妨げるとか、苦いとか、そもそも香りが苦手とか、その他さまざまな事情でどうしてもコーヒーが飲めないという人もいるでしょう。そんな人に無理矢理コーヒーを飲ませようとしたらどうでしょう。その人にとってはとても辛い拷問になってしまうだろうと思います。

これは一つの例ですが、遊びや勉強、友だちづきあいやちょっとした言葉かけ、その他でも同じようなことがあるかもしれません。そこで、こうしてみたらどうでしょうか。

まず最初は「自分がその人だったらどうだろう」と考えてみます。それが自分の物差しを使うということです。けれども、そこで終わりにせず「いやいや、相手は自分とは違う物差しを持っているかもしれないぞ」と考えて、自分が今からしようとしていることや、かけようとしている言葉をもう一度見直してみしてほしいのです。それが相手に対する心遣いです。

人にはそれぞれ違いがあります。それは当たり前のことです。違うからこそ、あなたはあなた、私は私だと思えるのです。自分と他の人が違うということをよく理解して、認めた上で、お互いを大切にしていきたいです。

情けは人のためならず、と言います。自分を大切にしてもらいたいなら、同じくらい他の人を大切にすることが人付き合いのポイントです。誰もがこうした心配りをする、一人ひとりが自分らしく生き、尊重され、楽しい時間を過ごせると思います。そういう学校、そういう世の中にしたいです。相手の感じ方を、少しおもんばかってみませんか。

## 【12月の主な行事】

|     |   |                                                        |
|-----|---|--------------------------------------------------------|
| 1日  | 月 | 入試相談予約開始                                               |
| 2日  | 火 | 委員会会議（帰りの会）                                            |
| 3日  | 水 | 専門委員会                                                  |
| 4日  | 木 | 3年実力テスト<br>人権週間（～12/10）<br>委員会報告（帰りの会）                 |
| 5日  | 金 | 全校面接練習（3年）<br>1・2年一斉下校<br>第2回調査書記載内容<br>確認書配付（3年）      |
| 8日  | 月 | 生成AI 職員研修<br>一斉下校                                      |
| 9日  | 火 | 学校生活アンケート（生徒）                                          |
| 10日 | 水 | 安全点検<br>学級優先<br>冬の交通安全週間～19<br>第2回調査書記載内容<br>確認書回収（3年） |
| 11日 | 木 | 新入生保護者説明会<br>保護教正装リサイクル<br>朝練 7:10～（～2/4）              |
| 15日 | 月 | 入試相談開始（3年）                                             |
| 16日 | 火 | 大掃除・ワックスかけ                                             |
| 17日 | 水 | 職員会議<br>一斉下校 14:15                                     |
| 18日 | 木 | 授業参観（1・2年）<br>保護者会（1・2年）<br>保護教代表会<br>資源物回収<br>家庭教育学級  |
| 22日 | 月 | 2学期給食最終                                                |
| 23日 | 火 | 終業式<br>調査書配付（3年）                                       |
| 24日 | 水 | 冬季休業（～1/6）                                             |
| 28日 | 日 | 学校閉庁日（～1/5）                                            |
| 1/7 | 水 | 3学期始業式                                                 |



## 人権週間について

「人権週間」は、毎年12月4日から12月10日までの1週間です。

この期間は、1948年12月10日に、国際連合の総会で「世界人権宣言」という非常に大切な宣言が採択されたことを記念して設けられました。世界人権宣言は、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と謳（うた）っています。これは、世界中の誰もが持っている、決して奪われることのない権利について定めた人類共通の目標です。

日本でも、この国際的な記念日を機に、国民一人ひとりが人権について考え、お互いを尊重し合う心を育むための集中的な啓発期間としています。

## 【部活動等の記録】

### 【卓球部】印旛郡市中学校新人体育卓球大会

共通男子シングルス 第5位  
第13位  
第14位

男子団体戦 第3位 県大会出場

初戦 八街北 3-0〇 勝利

2回戦、白井北部 3-0〇 勝利

第4シードの吾妻中に 3-2〇 勝利

第1シードの四街道中に 2-3× 惜敗

セカンドステージに進み、井野中に 3-1〇 勝利

県大会決定戦、第2シードの八街に 3-2〇 勝利

男子団体戦では、チーム一丸となり試合に臨みました。白熱した戦いであり、どの選手も堂々と戦うことができました。それぞれの持ち味を生かし、相手を圧倒する試合展開だったかと思います。団体戦では、県大会に出場します。そこでもチームの強さを見せてほしいです。シングルスでも優秀な成績を残しました。さんは、12月と1月に行われる県大会と県強化大会に出場します。さんとさんは、12月に行われる県大会に出場します。





## 〔卓球部〕印旛郡市中学校新人体育卓球大会(続き)

共通女子シングルス 第5位  
1年女子シングルス 第5位

女子団体戦 第6位

2回戦、成田西に3-1〇 勝利  
第4シード臼井中に2-3× 惜敗  
セカンドステージへ進み、成田付属に3-1〇 勝利  
県決定戦で吾妻中に1-3× 惜敗  
5位決定戦で四街道西中に2-3× 惜敗  
印旛郡で6位となった。

力強い試合でセカンドステージまで進み、シード校とも接戦になる素晴らしいゲーム内容でした。女子の団体戦では1年生も加わる試合で、2年生の先輩たちが良き姿となりリードしていく試合展開が見られました。シングルスでは、1年生も2年生も共に優秀な成績を残しました。

さんは、12月と1月に行われる県大会と県強化大会に出場します。さんは、12月に行われる県強化大会に出場します。これからもさらに強くなっていくチーム西の原卓球部が楽しみです。



## 〔陸上部〕千葉県中学校駅伝大会

|           |           |
|-----------|-----------|
| 男子の部 第12位 | 女子の部 第30位 |
| 1区        | 1区        |
| 2区        | 2区        |
| 3区        | 3区        |
| 4区        | 4区        |
| 5区        | 5区        |
| 6区        |           |

11月1日(土)、柏の葉公園内において、千葉県中学校駅伝大会が行われました。当日は、気温がやや高めでしたが風もそれほど強くなく、比較的良好なコンディションでした。

女子は印旛郡の予選会で2位となり、印旛のチャンピオンになることができませんでした。そこで、今大会は印旛郡のチームの中でトップを目指すことが目標でした。残念ながら印旛のトップとはなりませんが、郡駅伝で木刈中と1分32秒あった差を、50秒差まで縮めることができました。30位は現在の力を考えると立派です。

男子は8位以内の入賞を目標としていました。大会前1、2週間の間にインフルエンザ等で体調を崩す選手が多く、結果は12位、8位とは15秒差でした。万全の状態であれば入賞は現実的な目標だったと思います。悔しいところですが、それでも、全校体制で駅伝をやるのが当たり前の東葛地区を相手に12位は立派です。特にさんは3000m専門の選手を相手に1区区間2位、距離の差を考えると全体で2位とっていいと思います。立派な結果です。



## 〔書道部〕和洋女子大学競書大会

○半切の部

特選

○半紙の部

学長賞・佳作

金賞

金賞

金賞

金賞

銀賞

銀賞

銀賞

銀賞

○硬筆の部

銅賞

銅賞

銅賞

金賞

銀賞

銀賞

銅賞



それぞれ課題を設定し、練習をしてきた作品展です。これまでの練習の成果もあり、文字のバランスも美しくなっています。今後の活動にも期待が膨らみます。頑張ってください。

## 全国学力・学習状況調査の結果分析

4月17日(木)、日本中の中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査の目的は、①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることにあります。ですから正答率のみに着目するのではなく、生徒の学力傾向や学習状況、生活習慣などを正しくとらえ、得意な分野を伸ばしながら、課題の残る分野を改善していけるよう、この調査結果を生かしてまいります。

### 【教科に関する調査からわかる西の原中生徒の特徴】

#### （国語）

平均正答率は、全国平均より1.3%、県平均より1%下回る結果となりました。「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」どの分野においても全国・県平均共に2%前後、下回っています。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均より、0.3%、県平均より1.3%上回りました。今後、基礎的な「話す・聞く」「書く」の力を維持・向上させつつ、文章や情報の要点を的確に捉え、論理的に自分の言葉でまとめる記述力の向上を目指します。

#### （数学）

全体平均では県平均と同等です。正答率からは、「図形」の領域が39.9%と、県平均（45.5%）や全国平均（46.5%）を約5.6～6.6ポイント大きく下回っており、最も大きな課題となっています。「数と式」（43.9%）、「関数」（48.5%）、「データの活用」（57.8%）は、県・全国平均とほぼ同水準またはわずかに上回っています。図形領域の課題を裏付けるように、「多角形の外角」の正答率が41.0%と、県（55.8%）、全国（58.1%）を大きく下回り、外角の意味の理解に課題があります。思考力を問う記述式問題では、「数と式」領域の問題の意味を読み取り説明する問題が35.5%で、県（43.4%）全国（45.2%）を下回っています。また、図形領域の問題の正答率も30.7%と、県（31.6%）、全国（33.2%）をわずかながら下回っている事を考えると、思考力・記述力の強化として、証明や説明を要する記述式問題に多く触れさせ、問題を数学的に解釈し、推論の過程を表現できる力を高めさせる必要があります。図形領域を中心とする既習事項の学び直しと、応用的な問題に取り組む活動をバランスよく取り入れ、自力で問題解決ができる学力の定着を目指します。

#### （理科）

平均正答数は2.8/6問で、千葉県（公立）の平均と同等ですが、全国（公立）の2.9/6問をわずかに下回る結果となりました。生徒の能力分布を見ると、上位層の割合が低く、上位25%の生徒率の値は全国を下回る一方、中位層の割合は43.7%と全国・県平均をやや上回っており、今後の伸びしろが見られます。基礎的・基本的な知識は定着していますが、知識や技能を活用して科学的に考察し、論理的に表現する力が十分に育っていないことが課題です。今後は、目的を明確にした探究的な学習活動を充実させ、仮説を立てて実験を分析・考察する過程を重視し、生徒一人ひとりの「科学的に考える力」の育成を一層推進します。

### 【生徒質問紙調査からわかる西の原中生徒の特徴】

本校は朝食摂取や就寝時間といった基本的な生活習慣、および家庭のルール遵守に関する規範意識が全国平均を上回る高い水準で維持されています。また、自己肯定感・自己有用感も全国平均をわずかに上回っており、生徒は一定の精神的な安定と前向きな姿勢を保っているといえます。主な課題は、生徒の主体的な情報活用と深い学びの定着です。生徒側の課題として、「授業がよくわかる」「話し合いで考えが深まる」といった学習意欲・態度に関する肯定的な回答が全国平均を下回っており、これに対応するように生徒に配備されたICT機器の授業での活用頻度（週3回以上）が全国・県平均を下回っています。今後は、高い規範意識や自己肯定感を学力向上に繋げるため、生徒一人一台端末の効果的な活用を授業に積極的に組み込んでいきます。特に、主体的・対話的な学習活動を充実させ、探究の過程を重視した指導を展開することで、生徒の理解度を高め、各教科（特に数学・理科）で課題が見られた思考力・判断力・表現力の向上を目指していきます。